

ぶどう特報 No. 2



No. 2 2019. 4. 17
JA 中野市営農センター
JA 中野市ぶどう部会

休眠期防除実施時期です。発芽前には必ず散布しましょう。(4月20日～発芽前まで)
温かくなってきました。苗木の植え付け・藁外し・粗皮削りを実施してください。

休眠期防除は週間天気予報や生育状況を確認して、散布遅れがないように薬剤散布を実施して下さい。生育状況は平年比2日程度遅い状況です。

発芽予想日	昨年	南部	北部
巨峰	4月22日	4月26日頃?	4月29日頃?
シャインマスカット	4月29日	5月3日頃?	5月6日頃?

第2回 シャインマスカット定期防除(カスミカメムシ対策防除(葉に穴をあける虫))

散布時期	発芽直後(5月初旬頃)	南部: 5/3~	北部: 5/6~
散布品種	シャインマスカット、ロザリオビアンコ、単植・混植園【巨峰園などは特別散布】		
散布薬剤	水	100	ℓ
	展着剤(ハイテンパワー)	10	ml
	劇モスピラン顆粒水溶剤(14日前・3回)	50	g
散布量	300ℓ/10a		
適用病害虫	ツマグロアオカスミカメ・カイガラムシ類・アザミウマ類		
注意点	① <u>シャインマスカット、ロザリオビアンコ園は必ず散布する。(混植園も散布)</u>		
	② 訪花昆虫保護のため、畦畔の草刈りを実施し早朝に防除する。(散布時期に注意)		
	③ 園地の3割程度が発芽したら散布を実施する。		
	④ 例年被害が多い園は早めの散布を心がける。		
	モスピランの散布時期(園内3割が右の写真の頃) ⇒		



【黒とう病撲滅に向けた管理について】

一昨年大発生した黒とう病ですが、一昨年の病斑から今年も病気が発生する危険性があります。昨年・一昨年発生した園地は以下の点に注意して防除を実施してください。

生育初期の黒とう病対策チェックリスト

- 病斑が昨年・一昨年の枝にないか確認する。ある場合は必ず切除。園外持ち出して焼却処分。どうしても切除できない場所はトップジンMペーストを病斑部に漏れがないように塗布をする。特に、多発場所は十分確認を実施する。
- 休眠期防除のデランフロアブルと展葉2~3枚のオンリーワンフロアブルはしっかり散布。



黒とう病について理解を深めましょう。

- ① シャインマスカットや長果G11(クイーンルージュ)は特にこの病気に弱い。
- ② 平均気温が12度以上で伝染が始まります。(4月中下旬からは伝染する) → 休眠期防除重要
- ③ 雨や水で伝染する。(降雨が多いときは特に注意。棚上からのかん水も原因になる場合がある)
- ④ 一度病斑ができてしまうと2~3年はそこから伝染する。→ 園地に残さないことが非常に重要

次回特報は4月26日(木)頃 発行予定